DERWENT-ACC-NO:

2001-659804

DERWENT-WEEK:

200176

COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE:

Horizontal type compressor structure has suction inlet of discharge tube located at base of hyperbaric chamber

and positioned lower than ejection opening

PATENT-ASSIGNEE: DAIKIN KOGYO KK[DAIK]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0091437 (March 29, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO

PUB-DATE

LANGUAGE

PAGES

MAIN-IPC

JP **2001271752** A October 5, 2001

N/A

005

F04B 039/12

APPLICATION-DATA:

PUB-NO

APPL-DESCRIPTOR

APPL-NO

APPL-DATE

JP2001271752A

N/A

2000JP-0091437

March 29, 2000

INT-CL (IPC): F04B039/12, F04C029/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001271752A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - The suction inlet (3a) of a discharge tube (3) is located at the base of the hyperbaric chamber (P). An ejection opening (1) discharges the coolant, or lubricating oil, from a compression mechanism (CF) to the hyperbaric chamber. The suction inlet is located lower than the ejection opening. The discharge tube guides the coolant from the chamber to the external.

USE - Horizontal type compressor structure.

ADVANTAGE - Enables compressor external system to easily draw out coolant from within compressor, without reducing low noise drive property of compressor or causing insufficient lubricating oil supply. Eliminates use of e.g. oil return pipe. Prevents reduction of compressor capability.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the fragmentary sectional view of a horizontal compressor.

Ejection opening 1

Discharge tube 3

Suction inlet 3a

Compression mechanism CF

Hyperbaric chamber P

Tast Available Copy

2/19/06, EAST Version: 2.0.3.0

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/3

TITLE-TERMS: HORIZONTAL TYPE COMPRESSOR STRUCTURE SUCTION INLET DISCHARGE TUBE

LOCATE BASE HYPERBARIC CHAMBER POSITION LOWER EJECT OPEN

DERWENT-CLASS: Q56

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-491991

2/19/06, EAST Version: 2.0.3.0

PAT-NO:

JP02001271752A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001271752 A

TITLE:

HORIZONTAL COMPRESSOR

PUBN-DATE:

October 5, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

NOJIMA, NOBUHIRO

N/A

YOSHIMURA, KEIJI KUROIWA, HIROYUKI N/A N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

DAIKIN IND LTD

N/A

APPL-NO:

JP2000091437

APPL-DATE:

March 29, 2000

INT-CL (IPC): F04B039/12, F04C029/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a horizontal compressor provided with a mechanism capable of returning lubricating oil separated at a high pressure chamber side to a low pressure chamber side in a proper condition.

SOLUTION: A refrigerant delivered to the high pressure chamber P is led out from a delivery pipe 3 having a suction port 3a on a bottom surface part of the high pressure chamber P toward a compressor outer system.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

2/19/06, EAST Version: 2.0.3.0

(19)日本国特新庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出廣公開番号 特開2001-271752 (P2001-271752A)

テーマコート*(参考)

101H 3H003 J 3H029

(43)公開日 平成13年10月5日(2001.10.5)

| (51) Int.CL7 | 識別記号 | FΙ | |
|--------------|------|---------------|--|
| F04B 39/12 | 101 | F 0 4 B 39/12 | |
| F04C 29/00 | | F 0 4 C 29/00 | |

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 5 頁)

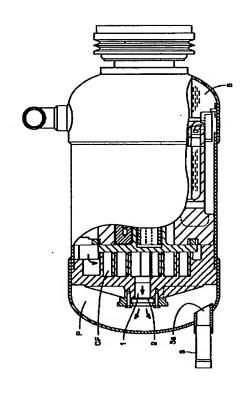
| (21)出願番号 | 特顧2000-91437(P2000-91437) | (71)出顧人 000002853 |
|----------|---------------------------|----------------------|
| | | ダイキン工業株式会社 |
| (22)出顧日 | 平成12年3月29日(2000.3.29) | 大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 |
| | | 梅田センタービル |
| | | (72)発明者 野島 伸広 |
| ٠ | | 大阪府堺市築港新町3丁12番地 ダイキン |
| | | 工業株式会社堺製作所臨海工場内 |
| | | (72)発明者 吉村 恵司 |
| | • | 大阪府堺市築港新町3丁12番地 ダイキン |
| | | 工業株式会社堺製作所臨海工場内 |
| | | (74)代理人 100064746 |
| | | 弁理士 深見 久郎 (外3名) |
| | | 7,522 7,54 070 17 |
| | | 最終頁に絞 |
| | | MURICINAL |

(54) 【発明の名称】 横形圧縮機

(57)【要約】

【課題】 高圧室側で分離された潤滑油を適切な状態で 低圧室側に戻すことのできる機構を備えた、横形圧縮機 を提供する。

【解決手段】 高圧室Pに吐出された冷媒は、高圧室P の底面部に吸込口3 aを有する吐出管3から圧縮機外部 システムに導出される。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 圧縮要素 (CF) で圧縮された冷媒を高 圧室 (P) に吐出するための吐出口(1)と、前記吐出 口(1)から前記高圧室(P)に吐出された冷媒を外部 に導くための吐出管(3)とを備える横形圧縮機であっ て、

前記吐出管(3)の吸込口(3a)が、前記吐出口 (1)よりも下方の領域に設けられる、横形圧縮機。 【請求項2】 前記吐出管(3)および前記吸込口(3 a)が、前記高圧室(P)の底面側近傍に設けられる、

請求項1に記載の横形圧縮機。 【請求項3】 前記吐出管(3)は、前記高圧室(P) の上面側近傍に設けられ、前記吸込口(3a)は、前記

高圧室(P)の底面側近傍に設けられる、請求項1に記

【発明の詳細な説明】

[0001]

載の横形圧縮機。

【発明の属する技術分野】この発明は、横形圧縮機に関 し、特に横形圧縮機内部の油上がりを防止する構造を有 する横形圧縮機に関する。

[0002]

【従来の技術】従来、横形圧縮機においては、図3に示 すように、圧縮要素CFで圧縮された冷媒は、吐出口1 から逆止弁2を通って高圧室Pに吐出され、さらに高圧 室Pに吐出された冷媒は、高圧室Pの上部に吸込口3a を有する吐出管3から圧縮機外部システムに導出され

【0003】ここで、高圧室Pに吐出された冷媒には、・ 圧縮機内の潤滑油が含まれており、高圧室Pで分離され た潤滑油は、横形圧縮機の底部に設けられた油戻し管4 30 実現することが可能になる。 により、高圧室P側から低圧室側に設けられた油溜まり 5へ戻される。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述し た油戻し機構を備えた横形圧縮機においては、油戻し機 構が飽和した場合、潤滑油が高圧室に溜まり、その結 果、油溜まりの潤滑油が不足し、低圧室側において給油 不足が発生するおそれがある。また、潤滑油が高圧室に 溜まった場合、高圧室の体積が減少するため、消音効果 が減少するおそれもある。

【0005】一方、高圧室への油上がりが少ない場合に は、高圧室内の高圧冷媒が油戻し管により低圧室側に流 れ込み、能力低下が発生するおそれがある。

【0006】また、上述したような油戻し機構を備えて いない横形圧縮機においては、高圧室内に潤滑油が溜ま り、その結果、油溜まりの潤滑油が不足し、低圧室側に おいて給油不足が発生するおそれがある。

【0007】したがって、この発明の目的は、横形圧縮 機において、高圧室側で分離された潤滑油を適切な状態 で低圧室側に戻すことのできる機構を備えた、横形圧縮 50 ける横形圧縮機の構造を示す部分断面図である。

機を提供することにある。

[0008]

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するた め、請求項1に記載の横形圧縮機においては、圧縮要素 で圧縮された冷媒を高圧室に吐出するための吐出口と、 上記吐出口から上記高圧室に吐出された冷媒を外部に導 くための吐出管とを備える横形圧縮機であって、上記吐 出管の吸込口が、上記吐出口よりも下方の領域に設けら

【0009】この構成を採用することにより、高圧室に 10 溜まった潤滑油は、吐出管の吸込口が、吐出口よりも下 方の領域に設けられていることから、冷媒とともに圧縮 機外部システムに導出され易くなる。

【0010】これにより、たとえば圧縮機外部システム に設けられる油分離器により冷媒と潤滑油とが分離され た後に、潤滑油が油溜まりへ戻される機構の採用、潤滑 油が含まれたまま圧縮機の低圧室側へ潤滑油が戻される 機構の採用等が可能になる。

【0011】その結果、低圧室側における給油不足の発 20 生回避、および、消音効果の減少を防止することが可能 になる。また、油戻し管を設ける必要がなくなることか ら、高圧室内の高圧冷媒の低圧室側に流れ込みが生じ ず、能力低下の発生を回避することが可能になる。

【0012】また、請求項2に記載の横形圧縮機におい ては、請求項1に記載の横形圧縮機であって、上記吐出 管および上記吸込口が、上記高圧室の底面側近傍に設け られる。この構成を採用することにより、上述した発明 と同様に、低圧室側における給油不足の発生の回避、消 音効果の減少の防止、および、能力低下の発生の回避を

【0013】また、請求項3に記載の横形圧縮機におい ては、請求項1に記載の横形圧縮機であって、上記吐出 管は、上記高圧室の上面側近傍に設けられ、上記吸込口 は、上記高圧室の底面側近傍に設けられる。

【0014】この構成を採用することにより、上述した 発明と同様に、低圧室側における給油不足の発生の回 避、消音効果の減少の防止、および、能力低下の発生の 回避を実現することが可能になるとともに、吐出管自体 は高圧室の上面側近傍に設けられることから、吸入管と の位置が同じ方向となり、横形圧縮機を圧縮機外部シス テムに組込む場合の施工性を損なうことなく実施するこ とが可能になる。

[0015]

【発明の実施の形態】以下、この発明に基づいた各実施 の形態における横形圧縮機の構造について、図を参照し ながら説明する。

【0016】(実施の形態1)この発明に基づいた実施 の形態1における横形圧縮機の構造について、図1を参 照しながら説明する。なお、図1は、本実施の形態にお

【0017】図1を参照して、圧縮要素CFで圧縮され た冷媒は、吐出口1から逆止弁2を通って高圧室Pに吐 出される。さらに高圧室Pに吐出された冷媒は、本実施 の形態においては、高圧室Pの底面部に吸込口3aを有 する吐出管3から圧縮機外部システムに導出される。

【0018】 (作用・効果) ここで、高圧室Pに溜まっ た潤滑油は、吐出管3の吸込口3aが、吐出口1よりも 下方の領域に設けられていることから、冷媒とともに圧 縮機外部システムに導出され易くなる。その結果、たと えば圧縮機外部システムに設けられる油分離器により冷 10 用することが可能である。 媒と潤滑油とが分離された後に、潤滑油が油溜まり2へ 戻される機構の採用、潤滑油が含まれたまま圧縮機の低 圧室側へ潤滑油が戻される機構の採用等が可能になり、 低圧室側における給油不足の発生を回避することが可能 になる。また、潤滑油が高圧室Pに溜まることがないた め、高圧室Pの体積減少に基づく消音効果の減少を回避 することが可能になる。

【0019】さらに、従来構造のように、油戻し管を設 ける必要がなくなることから、高圧室P内の高圧冷媒の 低圧室側への流れ込みが生じず、能力低下の発生を回避 20 することが可能になる。

【0020】(実施の形態2)この発明に基づいた実施 の形態2における横形圧縮機の構造について、図2を参 照しながら説明する。なお、図2は、本実施の形態にお ける横形圧縮機の構造を示す部分断面図である。

【0021】図2を参照して、本実施の形態における横 形圧縮機と上述した実施の形態1における横形圧縮機と の相違点は、吐出管3が高圧室Pの上面側近傍に設けら れ、その吸込口3aが、高圧室P内を下方に延びる配管 を用いて、高圧室Pの底面側近傍に設けられている点に 30 ある。

【0022】(作用・効果)この構成を採用することに より、上述した実施の形態1の作用・効果に加え、吐出 管3自体は高圧室Pの上面側近傍に設けられることか ら、吸入管との位置が同じ方向となり、横形圧縮機を圧 縮機外部システムに組込む場合の施工性を損なうことな く実施することが可能になる。

【0023】なお、上記各実施の形態においては、吸込 口3aが下方に設けられた吐出管3の場合について説明 しているが、吸込口3 aが吐出口1よりも下方の領域に 設けられ構造であれば、吐出管3がどの位置に設けられ ていても構わない。

【0024】また、上記各実施の形態においては、開放 型の横形圧縮機に適用した場合について説明したが、開 放型に限定されずあらゆる形式の横形圧縮機に対して適

【0025】したがって、今回開示した各実施の形態は すべての点で例示であって制限的なものではないと考え られる。本願発明の技術的範囲は上記した説明ではな く、特許請求の範囲によって画定され、特許請求の範囲 と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれる ことが意図される。

[0026]

【発明の効果】この発明に基づく横形圧縮機によれば、 高圧室に溜まった潤滑油は、吐出管の吸込口が、吐出口 よりも下方の領域に設けられていることから、冷媒とと もに圧縮機外部システムに導出され易くなる。その結 果、低圧室側における給油不足の発生回避、および、消 音効果の減少を防止することが可能になる。また、油戻 し管を設ける必要がなくなることから、高圧室内の高圧 冷媒の低圧室側に流れ込みが生じず、能力低下の発生を 回避することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この発明に基づいた実施の形態1における横 形圧縮機の構造を示す部分断面図である。

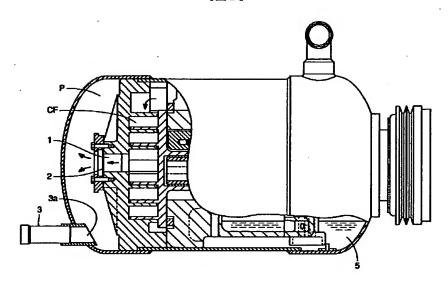
【図2】 この発明に基づいた実施の形態2における横 形圧縮機の構造を示す部分断面図である。

【図3】 従来の技術における横形圧縮機の構造を示す 断面図である。

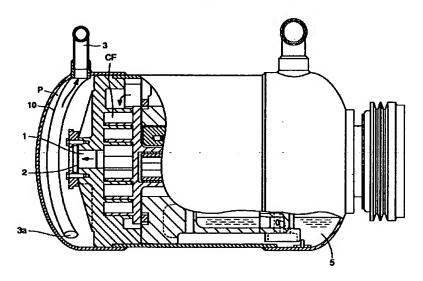
【符号の説明】

1 吐出口、2 逆止弁、3a 吸込口、3 吐出管、 CF 圧縮要素、P高圧室。

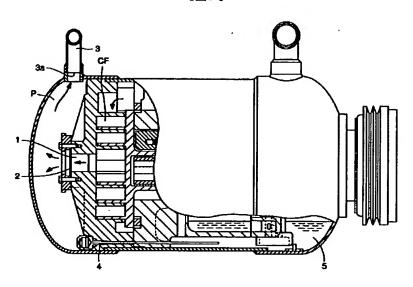
【図1】



【図2】







フロントページの続き

(72)発明者 黒岩 弘之

大阪府堺市築港新町3丁12番地 ダイキン 工業株式会社堺製作所臨海工場内 F ターム(参考) 3H003 AA05 AB05 AC03 BD12 BH06 CD01 CD06 CE02 3H029 AA02 AA16 AA21 AB03 BB01 BB03 BB21 BB32 CC02 CC09 CC25 CC33

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

| D | efects in the images include but are not limited to the items checked: |
|---|--|
| | ☐ BLACK BORDERS |
| | ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES |
| | ☐ FADED TEXT OR DRAWING |
| | BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING |
| | ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES |
| | ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS |
| | ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS |
| | ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT |
| | ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY |
| | ☐ OTHER: |

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.